

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」相模大野校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ~ 2026年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共感的な支援の提供をおこなっております	毎日のミーティングでお子様の発達段階や情報を職員間でこまめに共有しています。一人一人のお子様の興味関心に寄り添った支援を提供できるよう意識して取り組んでおります	今後も保護者様及びお子様ひとりひとりのニーズや課題を丁寧に聞き取り、分析し、ご要望に応じた適切な支援を提供できるよう努めて参ります
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況について共通理解しております	支援後の振り返りの時間や定期的な面談で、支援の様子やご家庭、学校生活の様子についてもお伺いし、共通理解が持てるよう取り組んでおります	今後も保護者様の話を傾聴し、気持ちに寄り添った助言を行うことで共通理解を深めて参ります
3	教室の環境・体制整備をおこなっております	お子様の特性や活動内容に応じて机の配置を変えたり、仕切りを利用して空間を調整し、利用者様が安心して活動に取り組める環境作りに取り組んでおります	今後もお子様たちの特性や発達段階を丁寧に観察し、柔軟に環境整備していくよう努めて参ります

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等も参加できる研修会等の提供がなかったこと	外部の研修については教室に掲示して情報提供しております。ご家族等も参加できる研修会の実施については、日程や会場の調整が難しく未実施となりました	研修会を企画運営するのは日程等調整に難しいかも知れませんが、同じ悩みやお困りごとを持つ保護者様同士の交流会ができるよう工夫して参ります
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がなかったこと	個別の支援を提供しており、児童クラブや児童館、地域の他の子どもとの交流、活動へのご要望が聞かれませんでした	開かれた事業所であるよう、利用者様のご意見ご要望があれば交流の機会を設けて参ります
3	定期的な通信やホームページ・SNS等での活動概要の発信されていないこと	集団療育や季節に合わせたイベント等実施されていますが、業務が間に合わず発信が不十分になりました	ホームページやSNSへの発信が難しい時は教室内へ「お便り」として掲示するなどして、個人情報に気を付けながら定期的に情報を発信していくよう工夫して参ります

<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">公表</div> 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		こどもサポート教室「きらり」相模大野校						
		公表日 2026年 2月 14日						
		利用児童数 37 回収数 23						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	0	1		スペースの区切り方などを工夫し、今後も活動しやすい環境を整えて参ります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	1	2	よく他の教室からヘルプ来ているので、大変そうです 職員少なく思います	今後も法令を遵守した職員配置をして参ります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2	0	1		可能な限りすこしやすい環境整備に努めて参ります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1	0	0		今後も、利用者様が安心して通っていただける環境作りに努めて参ります
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2	0	0	今後の生活や進路を考えてくれて、助かります	今後も保護者様とお子様の特性やご要望に合わせた療育を提供できるよう、支援の専門性を高めて参ります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	1		支援プログラムは2025年に公表しております
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0	長い期間利用していますが、とても丁寧に考えてくださっています	今後もアセスメントを適切に行い、こどもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した支援計画を作成していきます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	0	困った時に面談をしてくれるので、助かります	具体的な支援内容については個々の目標に応じて設定しております。適宜ご質問・ご相談に応じております
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		今後もご利用者様からのご意見を出来る限り柔軟に受け止め、支援に活かして参ります
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	2		複数の指導員で担当するため、定めた目標に向かって職員全員で様々なアプローチが出来るようにしています。今後も楽しく活動に参加していただけるよう、一人一人の興味・関心に沿った教材や活動の工夫に努めて参ります
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	6	10	本人が好みないので、1~2回（年に）位しか活動していない	交流の機会につきましては、事業所の体制、ご利用者様のご意見を十分に考慮した上で検討して参ります
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		今後も契約時や更新時に丁寧な説明をおこなうよう努めて参ります。事業所内に書類を掲示しております
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	1		適宜、ご質問・ご相談に対応しております
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	5	8	あまり参加していないので、わからない	ペアレントトレーニングは実施していませんが、個別相談に対応しております
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	0	0	1	子供の成長と一緒に喜んでくださって、こちらも嬉しいです	支援後のフィードバックでは日頃の状況を伝えることで、共通認識を持てるようにしております LINEで支援の様子をお伝えする際、よりご理解されやすい伝え方等工夫して参ります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	0		日頃からご利用者様のお困り事を伺ったり、計画更新時には面談の機会を設け、助言できる環境を整えております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		引き続き保護者様が相談しやすい環境を整え、お伺いした情報を共有、支援に活かして参ります

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	5	11		今後、保護者様からの必要性に応じて、父母の会開催や保護者会の実施を行い、保護者様同士の連携を図れるよう努めて参ります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	1		今後もお子様や保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切に対応して参ります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	1		今後もお子様や保護者様とのコミュニケーションツールなど工夫して伝達が円滑になるよう努めて参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	9	LINEにて毎回丁寧なご報告をいただいております	連絡体制はLINEなどを活用し、保護者様に周知させて頂いております。今後はSNS、掲示の方法なども改めて工夫して参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	0	0	天井まで区切られていない為会話が簡抜けになるので、適度な声の大きさで会話するよう心掛けて欲しい	個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管し、個人情報にアクセス出来る端末はパスワードを設定する等、適切に対応して参ります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	12		策定したマニュアルを定期的に保護者様に説明して参ります 周知の方法は掲示だけでなく、SNS等で発信していくよう努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	1	14	説明は受けました	月1回、職員間での防災訓練を実施しております。ご利用者さんをえた実働訓練も1月に実施いたしました
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	3		今後も安全に支援に取組める環境であるか、日々のチェックを職員全体で取り組んで参ります。周知については教室に掲示する以外にSNS等でも発信して参ります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	7		今後も事故が発生した際には保護者様に速やかに連絡し、状況説明できるよう努めて参ります
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	2	0	1		今後もお子様が安心して通所できる居心地の良い場所を目指し、努めて参ります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	1	1		今後もお子様が楽しみに来所される事業所となるよう、活動プログラムや支援教材を工夫して参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	先生が短期間で退職したり、移動してしまうので残念 勤務先が遠いのは会社にとっても、先生にとってもデメリットしかない。勤務先をあまり遠くにせず、通勤費を抑えお給料をアップした方がやる気がでるのでは	今後もお子様や保護者様のニーズに沿った支援の提供に努めて参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」相模大野校	公表日	2026年 2月 14日	
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	バーテーションで仕切り、適切なスペースを確保しております	バーテーションで仕切るだけでなく、机の配置などにも配慮し、個別療育ができる環境を整えて参ります
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	法令を遵守した職員配置をしております	今後も法令を遵守した職員配置をして参ります
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	視覚優位な場合もバーテーションで仕切り、集中できる環境を整えております	今後もそれぞれの児童の特性に配慮し、過ごしやすくわかりやすい環境整備や情報伝達に努めて参ります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	定期的に清掃し、清潔を保てるようにしております	今後も環境整備や換気、消毒作業を行い、安心して通える事業所作りを行って参ります
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	感覚刺激を抑え音や光を遮断できる椅子を設置しており、いつでも利用できるようにしております	今後も状況に応じ、適宜環境を整えて参ります
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○	日々の話合いを欠かさないようにしております	業務改善の為にどの職員も主体的にPDCAサイクルに参画できるようにしております
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	評価表の結果をもとに会議を開き、保護者の意見を把握し、業務改善にも繋げております	今後も保護者の意向を踏まえて、業務改善に努めて参ります
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	定期的に面談の機会を設け、職員の意見を把握できるようにしております	今後もどの職員も意見できる職場づくりに努め、受けた意見を業務改善に反映できるよう努めて参ります
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	第三者ではないが、上長巡回訪問で定期的に教室の視察、業務改善を行っております	第三者評価としては実施できていないが、事業所評価を業務改善につなげております
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	研修に参加出来なかった職員に対し、見逃し配信や、議事録、研修記録等で内容を共有できるようにしております	今後も定期的に開催される発達支援研究所からの研修を受け、資質向上に努めて参ります
適 切 性	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	支援計画に沿って、各指導員が適切に支援プログラムを作成しております	支援プログラムは2025年に公表しております
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	支援時のお子様の様子を観察し、発達検査の結果などを踏まえながら、アセスメントをしております	職員間で情報共有を行い、計画書の作成を行っております アセスメントと保護者のニーズに合うよう十分に情報共有しながら計画の作成に努めて参ります
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	作成の際はモニタリング時に職員間で課題の整理を行い、作成後にサービス担当会議で共通の理解をするようにしております	計画を作成する際には、毎回、サービス担当者会議を開催し、職員全体で子どもの課題や発達状況を共有理解できるよう努めています
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	支援計画が常に確認できるようになっております	今後もミーティングの中で職員全体で情報共有を行い、計画に沿った支援ができるようにして参ります
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	法人が定めたアセスメントシートを使用しております	今後も子どもの適応行動の状況をアセスメントして参ります
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	「本人支援」「家族支援」「移行支援」は支援時の様子や保護者様との振り返りをもとに、支援計画の内容を具体的に設定しております	今後もガイドラインの内容理解を深め、ガイドラインに沿った支援計画を具体的に作成できるよう努めて参ります

の な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	会議やミーティングで意見を出し合っており ます	ご意見を集約してチームで活動プログラムを作成して参ります
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	複数の指導員で担当するため、目標は定まっ ているが、その目標に向けて職員全員が様々なアプローチをおこなっております	現在の様子や困り事、苦手、得意から支援内 容を考え、活動が固定化しないように工夫して参ります
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	お子様の特性やニーズ、保護者様のご要望に 合わせて個別、小集団の活動を提案させてい ただいております	今後も利用者の要望に合わせて個別と集団の 活動を組み合わせた支援計画を作成して参り ます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	社内連絡ツールを活用しております	日々ミーティングを大切にしております。職 員全體でその日の予定を確認し、支援内容を 共有しております
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○ 支援記録を記入して指導員間での共有をして おります	重要な事項はその日のうちに情報共有し、翌 日のミーティングで振り返りをして参ります
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	○	支援記録は必ずとっており、改善点があれば 話し合いの時間を設けています	記録したことを支援の検証・改善につなげら れるよう、日々の業務にあたります
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月毎にモニタリングを行っています モニタリングやサービス担当者会議等で見直 しの必要性を判断して参ります	今後も定期的にモニタリングを行って参りま す
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	○	「地域交流の機会の提供」以外の活動を利用 者のニーズや課題に合わせながら組み合わせ て支援を行っております	段階的に「地域交流の機会の提供」の活動を 計画し、ガイドラインに沿って支援を行える よう努めて参ります
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	○	子どもの好む活動の他にもやりたくない活動 がある際には、「やりたくない」と他者 に伝えることができる場を作っております	今後も利用者様が主体として自分で決められ るように配慮した支援を提供できるよう努め て参ります
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	日々支援に入っている指導員も多く参加して おります	児発管、またはその子どもに主で関わった指 導員が障害者相談支援事業所のサービス担当 者会議に参加いたします
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係機関との話し合いに積極的に参加してお ります	今後も適宜ご利用者様のご要望に応じて対応 し、連携体制を整えて参ります
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	○	保護者様にご協力いただいております	事業所では送迎は行っていないので、直接学 校と連絡を取り合う事はありませんが、学校の 年間計画・行事予定などは保護者様を通じて 情報共有しております
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	多機能型のため、児童発達支援から継続して いる方が多くいらっしゃいます	現在は実施していませんが、今後必要に応じ て実施して参ります
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。		○ 成人後に福祉サービス事業所に移行した利用 者様がいらっしゃいません	現在は実施していませんが、今後必要に応じ て実施して参ります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パー・ペアーズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○ 児童発達支援センターより連絡があれば適宜 対応させていただきます	現在は実施していませんが、今後必要に応じ て実施して参ります
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する 機会があるか。		○ 個別支援のため、交流の機会はございません	今後、ご要望があれば交流の機会を設けてい くことを検討して参ります
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○ 参加しておりません。今まで参加の機会がござ いませんでした	現在、協議会等への参加は出来ていません が、機会があれば参加を検討して参ります
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	○	毎回支援後のフィードバックで最近の様子等 を伺い、共通理解を図っております	今後も日頃の状況を伝えることで、ご家族と 共通認識を持てるよう努めて参ります
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。		○ 地域で行われる研修は、適宜教室内に掲示して おります	今後ご利用者様のご要望に応じて、ペアレン トレーニングや研修の機会を提供できるよ う検討して参ります
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	○	契約時に必ず説明しております	今後も丁寧な説明が出来るように努めて参り ます

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		原案を作成し、保護者様に説明、同意を得た上で本計画を作成しております	今後も意向の確認を行い、作成して参ります
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		実際の支援を観察していただき、支援内容の説明と同意を得られる環境を整えております	今後も計画と支援内容の理解を得られるよう努めて参ります
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		子育てサポート加算の導入もあり、支援後のフィードバックを中心相談に応じられるよう努めております	今後もご家族からの相談に迅速かつ適切に対応できるよう努めて参ります
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		今年度は調整がつかず、未実施となりました	現在は実施していませんが、ご要望に応じて保護者会の開催を検討いたします
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情対応担当者を設置し、迅速かつ適切に対応できる体制になっております	苦情の窓口について、契約時、契約内容変更時に事業所内だけでなく、公共機関の窓口について説明を行って参ります
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		利用日時のお知らせや欠席連絡、振替連絡等はLINEを活用し、連絡体制がつきやすいようにしております	HPやインスタグラムで事業所の情報を発信できる体制を整えて参ります
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報の入ったファイルやPCは必ず鍵のかかるロッカーで保管しております	今後も個人情報の取り扱いには注意して参ります
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		イラスト付きの提示方法をするなどして、視覚的にわかりやすく工夫して情報伝達するよう努めています	今後も利用者の意見も聞きながら特性に配慮した情報伝達を工夫して参ります
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	今年度は調整がつかず、未実施となりました	現在は実施していませんが、ご要望に応じて今後の開催を検討いたします
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		委員会を設置し、マニュアル毎に情報共有の機会が設けられており、職員間での訓練も実施しております	周知については不十分だったかもしれません。今後、事業所内での周知方法について検討して参ります
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		災害用伝言ダイヤル（171）を実際に体験する訓練や研修を行っております	今後も職員は業務継続計画の内容を熟知して事業所の運営にあたって参ります
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		<input type="radio"/>	契約時に基本情報の確認をしています。また、毎年フェイスシートを更新し、状況を確認するようにしております	今後も服薬などの子どもの状況を確認して参ります
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		事業所での食事提供はございません	今後も必要に応じて食物アレルギーへの対応をして参ります
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全員で研修に参加しております	今後も職員は安全計画の内容を熟知して事業所の運営にあたって参ります
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		一次避難先だけでなく、その後の避難場所についても教室内に掲示しております	今後も定期的に取り組み内容を周知して参ります
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		社内オンラインで共有しており、いつでも確認できるようになっております	今後もヒヤリ・ハットの記録を欠かさないようにして参ります
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		年1回以上虐待防止・人権擁護の研修をしております	今後も職員研修の機会を確保して参ります
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		契約時の重要事項説明書で、身体拘束について保護者に説明しております	今後も身体拘束の必要がある場合は、必ず個別支援計画に記載して参ります